

会 議 録

会議の名称	第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会（部会②）
開催日時	令和8年4月20日(月) (午前・午後) 2時00分 開会 (午前・午後) 5時10分 閉会
開催場所	おにクル7階 会議室3
議長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出席者	<p>【評価委員（全出席委員のうち、下線のある委員が部会②に出席）】 河合将生氏（NPO関係者）、<u>入江陽子氏</u>（NPO関係者）、<u>上村有里氏</u>（NPO関係者）、<u>草山太郎氏</u>（追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 准教授）高田和子氏（地域活動関係者）、小村郁慧氏（公募市民） (6人)</p> <p>【事務局（全出席者のうち、下線のある者が部会②に出席）】 <u>田中共創推進課長</u>、<u>吉田共創推進課市民活動グループ長</u>、<u>岡田</u>、<u>森</u> (4人)</p> <p>【担当課】 こども政策課、社会教育振興課、障害福祉課、市民生活相談課 (4課)</p>
開催形態	原則公開
議題(案件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和8年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧（プレゼン審査タイムスケジュール） ・ 応募関係書類（個人情報を含むため省略）

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及び挨拶
河合委員長	<p>公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明、2室に分かれて審査を行う旨説明 傍聴者入室</p> <p>※ここまでは部会①とともに、会議室2にて実施</p> <p style="text-align: center;">----- プレゼンテーション開始 -----</p> <p>以下、プレゼン審査タイムジュール（4月20日プレゼン分②）の順に沿ってプレゼン審査を実施。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 むすびや 寺こや 地域とつながり、学び合う居場所づくり</p>
関連課	【関連課 意見】
上村委員	<p>【質疑応答】 ・去年補助金をもらったことによる効果はあったか。 →コミセンやお寺を使うのにも利用料がかかる。エアコン代なども考えると、利用者だけの負担金では賄えないが、補助金でも賄えたことによって、気持ち的にも金銭的にも楽に実施できるようになった。また、茨木市の補助金をもらっていることによって、団体への信頼性も上がったと感じている。</p>
入江委員	<p>・昨年度、事業をやってみて難しかったことや大変だったことはあるか。 →近隣の学校に紹介に行ったり、教育委員会の連絡会に参加させてもらったりしたが、居場所を必要とするお子さんに届いても、実際に来てくれるようなところまでなかなかつながらない。今後どう周知していくかが課題。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 いばらき音楽研究会 学校で取り上げる音楽や物語を中心にしたプログラムで構成するコンサート『おはなしおんがくかい～School Song Ver. 2026』（仮称）</p>
関連課	【関連課 意見】
上村委員	<p>【質疑応答】 ・演奏は、毎度同じメンバーが集まってやっているのか</p>

入江委員	<p>→基本的には同じメンバーで実施。ゲストとして誰か呼ぶことはある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂でも実施されたとのことだが、これまでに接点があった団体に訪問したのか。 <p>→昨年度は、こども食堂へ直接アプローチして実施までつなげた。今年度は、こども政策課から市内のこども食堂へ紹介してもらって、希望するこども食堂があれば、こども食堂と団体とで直接連絡をとるような流れにする予定。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 デジタルえほんサークル『ルピナス』 (昨年度報告) 作って遊ぼう科学工作 ジュニアアドバイザーにチャレンジ!</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
入江委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアアドバイザーの基準は何かあるか。 <p>→詳しい知識がなくても、手伝ってくれるだけでもジュニアアドバイザーとしていた。しかし、「アドバイザー」という言葉にハードルを感じてしまうこどももいたようで、今後は「コミュニケーター」という名前にしようと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業の最終的なゴールは何か。 <p>→ジュニアコミュニケーターだけで集まって企画実施までできればと考えている。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 デジタルえほんサークル「ルピナス」 ジュニアアドバイザーにチャレンジ! 育てよう科学の眼。伝えよう楽しむ心。</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
上村委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主たる運営メンバーはこれまでと変わったりしたか。 <p>→同窓生で実施しており、昔から特に変わってはいない。</p>
入江委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでジュニアアドバイザーとして参加してくれたこどもが、どんな風に成長していったかが何らかの形として見てもらえれば、保護者の方も喜ぶだろうし、これからやってみようと思うこどもも、イメージが付きやすいと思う。
団体	<p>【自由テーマ型】 レクリエーションボランティア団体 SUTAMO-family おにも見にクル FUKUSHI マルシェ</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
	<p>【質疑応答】</p>

上村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきたなかで、やってみて良かったなと思うことはあるか。 →事業所について知ってもらう良い機会になっている。今後も同じ規模で続けていき、広げていくためには協力できる人を増やしていかないといけない。 ・貴団体の取組に興味を持つ大学生も多いと思う。そういった人たちとつながってサポートしてもらうのも1つの方法かもしれない。
団体	<p>【自由テーマ型】</p> <p>いばにゃん有志の会 動物愛護啓蒙イベント・譲渡会</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p>
上村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の設立発足の経緯は。 →各個人で保護猫活動をしていたが、おにクルで保護猫の譲渡会をしたいという想いから、団体を結成。
入江委員	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡会をおにクルで実施できるという見込みはあるのか。 →おにクル側からの了承は得られている。譲渡会実施にあたってのガイドラインを設定いただいております、それを順守して実施する。
事務局	他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。
河合委員長	事務局から連絡事項はないか。
事務局	<p>この後、採点表を回収し、事務局にて集計ののち、交付・不交付について団体へ通知します。</p> <p>以上で、第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p>